



雪印種苗育成品種

イタリアンライグラス

タチユウカ

品種 (SI-14)

早生 農林水産省品種登録 第25366号 PVP 海外輸出禁止 (農林水産省大臣官庁)

規格

1kg/袋

22.5kg/袋

◎品種優春より硝酸態窒素の蓄積をさらに低く改良した牛に優しい早生品種!

詳しい情報は「牧草と園芸」をご覧ください。



農研機構と雪印種苗の共同育成品種!



品種特性

- 品種優春より硝酸態窒素の蓄積が少ない。
- カリウムの蓄積も優春並みに少ない。
- 早春から生育旺盛で多収な早生品種でトウモロコシとの組合せに適する。
- 草姿は品種優春よりもやや葉が立つ直立型で、耐倒伏性に優れ、品種優春以上に倒れにくく乾きやすいので収穫・調製しやすい。

播種期

東北中部・南部	9月上旬～10月中旬、4月上旬～4月下旬
一般地	9月下旬～10月下旬、3月中旬～4月上旬
西南暖地	10月上旬～11月上旬、3月上旬～3月下旬

※積雪期間の長い地域は雪腐病にご注意ください。

播種量

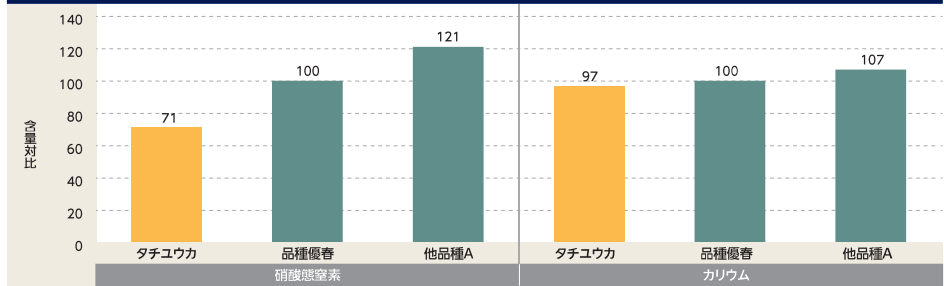
秋播き：3.0～4.0kg/10a
遅播き・春播き：4.0～5.0kg/10a

開発コンセプト



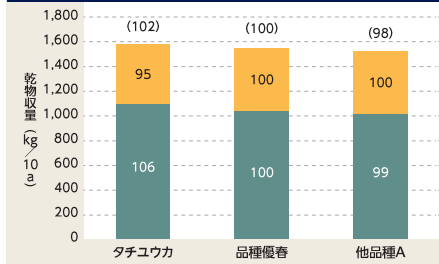
「タチユウカ」は、牛に優しい「品種優春」よりも更に硝酸態窒素の蓄積が少なく、牛にとってより優しく、収量性や耐倒伏性などの諸特性に優れる品種を育成することを目的に農研機構と共同で開発した品種です。

硝酸態窒素とカリウムの蓄積が少ない!



2013～2015年 農研機構畜産研究部門多肥試験及び弊社千葉研究農場の春1番草サンプル

収量性も優れる!



2013～2016年 弊社千葉研究農場及び宮崎研究農場 2013～2016年の平均値。
グラフ内の数値は品種優春対比で()は合計対比。

耐倒伏性に優れる!



2015年春 弊社千葉研究農場 多肥試験でのなびき倒伏

混播利用にも適する!

オオムギ 品種 ムサシボウ

混播により、春1番草の収量増や倒伏の予防、予乾時間の短縮などの効果が期待できます。
タチユウカ 3.0kg + 品種ムサシボウ 1.0～1.5kg/10aの混播

オオムギ 品種 ワセドリ2条

早播トウモロコシの後作として混播することで、年内は品種ワセドリ2条を主体に収穫し、翌春には再生したタチユウカを収穫します。
タチユウカ 3.0kg + 品種ワセドリ2条 3.0kg/10aの混播

エンバク ウルトラハヤテ韃駄天

早播トウモロコシの後作として混播することで、年内はウルトラハヤテ韃駄天を主体に収穫し、翌春には再生したタチユウカを収穫します。
タチユウカ 3.0kg + ウルトラハヤテ韃駄天 3.0～4.0kg/10aの混播

ライコムギ ライコッコ4

混播により、寒さによるタチユウカの収量減や倒伏防止、増収効果が期待できます。
タチユウカ 3.0kg + ライコッコ4 3.0～4.0kg/10aの混播

イタリアンライグラス マンモスイタリアンB

早晚性が異なるマンモスイタリアンBを混播することにより、刈り取り適期幅を広げ生産性を高めることができます。
タチユウカ 3.0kg + マンモスイタリアンB 2.0kg/10aの混播

クリムソンクローバ 品種 くれない

マメ科と混播することで栄養価(蛋白、ミネラル)の向上を図り利用性を高めることができます。
タチユウカ 3.0kg + 品種くれない 0.5kg/10aの混播



雪印種苗
雪印種苗育成品種

イタリアンライグラス
品種

タチマサリ

早生

規格

1kg/袋
22.5kg/袋

◎草丈高く、耐倒伏性に優れる早生の多収品種！



品種タチマサリと
クリムソングローバ
の混播(例)



イネ科にマメ科を混播することによって、栄養価(蛋白、ミネラル)の向上がはかれます。

※品種タチマサリ3kg/10a、クリムソングローバ0.5kg/10a

- 品種特性**
- 草丈高く、広葉で葉部割合が高い多収品種。
 - 早春から生育旺盛な早生品種で、トウモロコシ・ソルガム等の前作用に適する。
 - 直立型で耐倒伏性に優れ、刈りやすく、乾きが早く、ロールペールサイレージ体系に適する。

播種期	東北及び寒高冷地	9月上旬～10月中旬、4月上旬～4月下旬
	一般地	9月下旬～10月下旬、3月中旬～4月上旬
	西南暖地	10月上旬～11月上旬、3月上旬～3月下旬

※積雪期間の長い地域は雪腐病にご注意ください。

播種量

秋播き:3.0～4.0kg/10a
遅播き・春播き:4.0～5.0kg/10a

■品種タチマサリの1番草の乾物収量比

品種	千葉研究農場	宮崎研究農場	場所平均
タチマサリ	100 (1,361)	100 (1,108)	100 (1,235)
他品種A	99	92	96
他品種B	93	92	92
他品種C	97	92	95

2008～2012年 弊社千葉研究農場及び宮崎研究農場
品種タチマサリを100とした場合の数値。()内の数値が実数(kg/10a)



雪印種苗
雪印種苗育成品種

イタリアンライグラス
品種

タチワセ

早生

規格

1kg/袋
22.5kg/袋

◎これぞ元祖直立型！



- 品種特性**
- 直立型、耐倒伏性に優れる。
 - 倒れにくい! 刈りやすい! 乾きやすい! ▶ ロールペール、乾草に適する。
 - 早春から生育旺盛で、多収な早生品種。 ▶ トウモロコシの前作用に適する。
 - 麦類やマメ科牧草との混播に適する。

播種期	東北及び寒高冷地	9月上旬～10月中旬、4月上旬～4月下旬
	一般地	9月下旬～10月下旬、3月中旬～4月上旬
	西南暖地	10月上旬～11月上旬、3月上旬～3月下旬

※積雪期間の長い地域は雪腐病にご注意ください。

播種量

秋播き:3.0～4.0kg/10a
遅播き・春播き:4.0～5.0kg/10a

■品種タチワセの1番草の乾物収量比

品種	千葉研究農場	宮崎研究農場	場所平均
タチワセ	100 (1,382)	100 (1,089)	100 (1,236)
他品種A	97	94	95
他品種B	90	94	92
他品種C	94	94	94

2008～2012年 弊社千葉研究農場及び宮崎研究農場
品種タチワセを100とした場合の数値。()内の数値が実数(kg/10a)

イタリアンライグラス

イタリアンライグラス



雪印種苗
雪印種苗育成品種

イタリアンライグラス
品種

タチムシャ

中生

規格

1kg/袋
22.5kg/袋

◎耐倒伏性に優れる大型の多収品種!



- 品種特性**
- 生育旺盛で草丈高く、大型の多収品種。
 - 直立型で耐倒伏性に優れ、刈りやすく乾きが早いいため、乾草やラップサイレージ利用に適する。

播種期

東北及び寒高冷地	9月上旬～10月中旬、4月上旬～4月下旬
一般地	9月下旬～10月下旬、3月中旬～4月上旬
西南暖地	10月上旬～11月上旬、3月上旬～3月下旬

※積雪期間の長い地域は雪腐病にご注意ください。

播種量

秋播き: 3.0～4.0kg/10a
遅播き・春播き: 4.0～5.0kg/10a

再生もこんなに違う!!

倒れるとムレて傷むから、再生が悪くなり、収量も少ないんだよなあ...



他品種A 品種タチムシャ

弊社宮崎研究農場

購入粗飼料高騰対策の多回刈りにも特性発揮!

これで悩みも解決です!!





雪印種苗
雪印種苗育成品種

イタリアンライグラス
品種

マンモスイタリアンB (ビリケン)

中晩生

規格

1kg/袋
22.5kg/袋

◎春播きでも多収な耐病性4倍体品種!



- 品種特性**
- 初期生育に優れ、耐寒・耐雪性も優れる。
 - 草姿はやや直立型で刈り取りやすい。
 - 再生が早く、出穂茎数多く多収。
 - 春播きでも出穂茎数多く多収。
 - いもち病など各種葉病害の抵抗性に優れる。

播種期

東北及び寒高冷地	9月上旬～10月中旬、4月上旬～5月中旬
一般地	9月下旬～10月下旬、3月中旬～4月上旬
西南暖地	9月下旬～11月上旬、3月上旬～3月下旬

※積雪期間の長い地域は雪腐病にご注意ください。

播種量

秋播き: 3.0～4.0kg/10a
遅播き・春播き: 4.0～5.0kg/10a



雪印種苗
雪印種苗育成品種

イタリアンライグラス
品種

エース

晩生

規格

1kg/袋
22.5kg/袋

◎耐雪性に優れる4倍体多収品種!



- 品種特性**
- 耐寒・耐雪・耐暑性ともに優れる。
 - 草丈が高く、茎葉が大きく、再生力に優れる。
 - 晩秋又は梅雨時期に多発する冠さび病、9月播きで問題となるいもち病などの病害の抵抗性に優れる。
 - 東北および寒高冷地では2～3年利用も可能。

播種期

東北及び寒高冷地	9月上旬～10月中旬
一般地	9月下旬～10月下旬、3月中旬～4月上旬
西南暖地	9月下旬～11月上旬、3月上旬～3月下旬

※積雪期間の長い地域は雪腐病にご注意ください。

播種量

秋播き: 3.0～4.0kg/10a
遅播き・春播き: 4.0～5.0kg/10a

販売予告

2025年
新発売

雪印種苗

イタリアンライグラス
品種
たちモン
雪印種苗育成品種

晩生 品種登録出願中(出願公表中) 海外輸出禁止
(農林水産省大臣官庁告示)

◎優れた収量性、耐倒伏性を兼ね備えた晩生品種！
2025年に新発売 乞うご期待！

農研機構と雪印種苗の共同育成品種！



品種特性

- 品種エースより出穂始が1日早い4倍体晩生品種。
- 品種エースより立型の草姿で耐倒伏性に優れ、多収。
- 品種エースより初期～春の生育が良好。
- 耐寒・耐雪・耐暑性とともにより、長期利用が可能。
- 冠さび病などの病害抵抗性に優れる。

播種期

東北及び寒高冷地	9月上旬～10月中旬
一般地	9月下旬～10月下旬、3月中旬～4月上旬
西南暖地	9月下旬～11月上旬、3月上旬～3月下旬

※積雪期間の長い地域は雪腐病にご注意ください。

播種量

秋播き：3.0～4.0kg/10a
遅播き・春播き：4.0～5.0kg/10a

立型の草姿・多収・耐倒伏性に優れる！

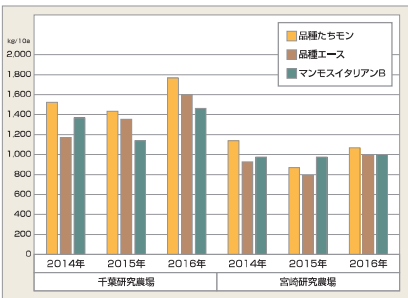


1番草の草姿（弊社千葉研究農場、2022年）

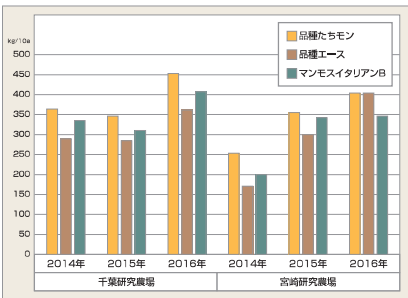
初期～春の生育が良好！



弊社千葉研究農場、2020年10月21日播種



1番草の乾物収量
※弊社千葉研究農場及び京都研究農場（2014～2016年）



2番草の乾物収量
※弊社千葉研究農場及び京都研究農場（2014～2016年）

イタリアンライグラス 品種特性一覧表

	品種	利用型	早晩性	倍数性	耐暑性	耐寒性	耐雪性	冠さび病耐性	春播出性	耐倒伏性	利用法		
											青刈り	乾草・サイレージ	水田裏作
雪印種苗育成品種	タチユウカ (品種 SI-14)	短期	早生	2	×	○	△	○	○	◎	○	◎	○
	タチワセ	短期	早生	2	×	○	△	△	○	◎	○	◎	○
	タチマサリ	短期	早生	2	×	○	△	△	○	◎	○	◎	○
	タチムシヤ	短期	中生	2	×	○	△	○	○	◎	○	◎	△
	マンモスイタリアンB (品種ビリケン)	中～長期	中晩生	4	△	○	△	○	○	△	◎	○	△
公的機関育成品種	エース	長期	晩生	4	○	◎	○	◎	×	△	◎	○	△
	Kyushu 1	短期	極早生	2	×	△	△	○	○	◎	○	◎	◎
	さちあおば	短期	極早生	2	×	△	×	◎	○	○	○	◎	◎
	はやまき18	短期	早生	2	×	○	△	△	○	◎	○	◎	○
	ワセアオバ	短期	早生	2	×	○	△	△	○	○	○	◎	○
	ワセユタカ	短期	早生	2	×	○	△	△	○	△	○	◎	○
	きららワセ	短期	早生	4	×	○	△	◎	○	○	○	◎	○
	クワトロ-TK5	短期	早生	4	×	○	○	△	○	○	○	◎	○
	ナガハヒカリ	短期	中生	4	×	○	◎	○	△	○	◎	○	△
	ヒタチヒカリ	中～長期	中晩生	4	△	○	△	○	△	○	◎	○	△
	アキアオバ3	長期	晩生	4	○	◎	○	◎	×	△	◎	○	△
	ガルフ	短期	中生	2	×	×	×	○	○	×	○	○	○

◎：極強、好適 ○：良、適 △：中、やや適 ×：極弱、低

イタリアンライグラス 公的機関育成品種他のご紹介

イタリアンライグラス
品種
Kyushu 1

規格
1kg/袋

極早生 品種登録出願中 海外輸出禁止
(農林水産省大臣官庁告示)

農研機構育成

いもち病抵抗性に優れた極早生種。冠さび病抵抗性、耐倒伏性にも優れる。9月からの早播き栽培に適し、年内収穫が可能。

イタリアンライグラス
品種
はやまき18

規格
1kg/袋

早生 PVP 海外輸出禁止
(農林水産省大臣官庁告示)

(一社)日本現地生産種子協会育成

いもち病抵抗性に優れた早生種。9月からの早播きに向き、年内収穫もできる。耐倒伏性に優れ、多収で、水田・畑地裏作に適する。

イタリアンライグラス
品種
ワセユタカ

規格
1kg/袋

早生 山口県育成

茎が太く、多葉で早春の収量性が高い。耐寒・耐雪性は劣り、西南暖地の水田・畑地裏作に適する。

イタリアンライグラス
品種
クワトロ-TK5

規格
1kg/袋

早生 PVP 海外輸出禁止
(農林水産省大臣官庁告示)

農研機構育成

根雪期間 80 日程度までの地域で栽培可能な 4 倍体早生品種。

イタリアンライグラス
品種
ヒタチヒカリ

規格
1kg/袋

中晩生 茨城県育成

茎太く、耐倒伏性、冠さび病耐性に優れた中～長期利用型 4 倍体品種。

イタリアンライグラス
品種
アキアオバ3

規格
1kg/袋

晩生 PVP 海外輸出禁止
(農林水産省大臣官庁告示)

茨城県育成

茎太く、葉幅が広く、再生力に優れる。冠さび病抵抗性に優れ、耐暑性や耐寒性が良好な長期利用型4倍体品種。

イタリアンライグラス
品種
さちあおば

規格
1kg/袋

極早生 PVP 海外輸出禁止
(農林水産省大臣官庁告示)

山口県育成

極早生で、年内と春の乾物収量がともに多収である。いもち病、冠さび病耐性に優れる。

イタリアンライグラス
品種
ワセアオバ

規格
1kg/袋

早生 農研機構育成

やや直立型で、葉幅がやや広く、茎数やや少ない、耐寒・耐雪性もやや良。新潟・関東以南の水田・畑地裏作に適する。

イタリアンライグラス
品種
きららワセ

規格
1kg/袋

早生 PVP 海外輸出禁止
(農林水産省大臣官庁告示)

山口県育成

直立型で茎葉が太く、耐倒伏性に優れた4倍体品種。冠さび病、いもち病抵抗性に優れる。遅播きでも生育旺盛。西南暖地の水田・畑地裏作に適する。

イタリアンライグラス
品種
ナガハヒカリ

規格
1kg/袋

中生 農研機構育成

耐寒・耐雪性に優れ、多雪地帯にも適する。4 倍体の中生・短期利用型品種。

イタリアンライグラス
品種
ガルフ

規格
1kg/袋

中生

中生品種で、耐暑性、耐寒性に劣る。

イタリアンライグラスの 上手な栽培のポイント

イタリアンライグラスは作りやすく多収な牧草です。基本的な栽培のポイントを守り、
良質自給飼料の安定確保に努めましょう。

1 圃場の準備

堆肥2〜3t/10aと、酸度矯正が必要な場合は苦土石灰等を（50〜100kg/10a）散布し、なるべく丁寧に耕起、碎土整地しましょう。イタリアンライグラスは比較的湿害に強い牧草ですが、水田裏作や転作で利用する場合は、水分過多にならないように、圃場排水も注意してください。

2 施肥

基肥としては、化成肥料で窒素、リン酸、カリウム各5〜6kg/10a、刈取り後の追肥は窒素、カリウム各3〜4kg/10aを標準とし、地力や堆肥の投入量によって加減してください。

3 播種期

東北・高冷地	9月上旬〜10月中旬 (4月上旬〜4月下旬) *
一般地	9月下旬〜10月下旬 (3月中旬〜4月上旬) *
西南暖地	10月上旬〜11月上旬 (3月上旬〜3月下旬) *

水稻立毛間播種や不耕起栽培の場合は、これより20日程度早めに播き終えるようにしてください。また、標高の高い地域も同様に、早めに播き終えるようにしましょう。春播き栽培については、秋播きほど収量がとれますが、中晩生で春播き出穂性が高いマンモスイタリアンBが多収で適しています。 ※（ ）内は春播き栽培（特に播種時期を厳守）

いもち病に注意!!

西南暖地、特に九州南部でイタリアンライグラスを早播きすると、幼苗がいもち病によって立ち枯れ、大きな被害を受けることがあります。高温で湿気が多いほど発生しやすいので、高温期の播種を避け、なるべく9月中旬以降に播種するようにしてください。いもち病の発生が心配される場合は、いもち病抵抗性品種の利用をおすすめします。また、一般に晩生の4倍体品種の方がいもち病に強い傾向があるので、エンバクとの混播などで晩夏播きする場合は、マンモスイタリアンBなど中晩生品種の利用をおすすめします。



※早晩性は出穂の早晩をあらわすもので、早生品種ほど早く播種できるということではありません。

4 ムギダニ対策

近年、晩秋から春にかけてイタリアンライグラスにムギダニの発生による被害が目立つようになりました。ムギダニの被害が甚大になると葉が黄化し、枯れてしまうこともあります。ムギダニの発生が心配される場合には、収量の減少を軽減する為以下のような対策を取ります。

- ① **スミチオン乳剤（1,000倍）を散布！**
ムギダニは秋に平均気温が16℃を下回るとふ化します。主に圃場周囲で発生し、次第に圃場の中に侵入してきますので、早めの圃場外側への散布が有効です。地域性もありますが、3月に入ると急速に増殖しますので、2月下旬から3月上旬散布が有効です。また、朝方、夕方、曇天の方が、ムギダニの活動が活発なので薬剤の効果が期待できます。なお、散布は遅くても、イタリアンライグラス収穫の1ヵ月前までに終わるようにしてください。
- ② **被害が甚だしい場合には、エンバク類で播き直しを！**
被害が甚大で収穫が見込まれない場合には、直ちにエンバク類で播き直しをします。極早生品種「スーパーハヤテ集」、極早生品種「ウルトラハヤテ牽駄天」や早生品種「ハイオーツ」が有効です。

5 播種量と播種方法

- 播種量：10a当り3.0〜4.0kgを基準に播種します。播き遅れや春播きの場合、また、立毛間播種や不耕起栽培では4.0〜5.0kgとやや多めに播種します。
- 播種方法のポイント：播種後の覆土と鎮圧を必ず行いましょう。覆土は2〜3センチ程度の厚さにしましょう。

イタリアンライグラスと牧草の 良質サイレージ調製のポイント

イタリアンライグラスは秋播き作物として栽培しやすく、また、糖(WSC)含量も高く
サイレージとして適していますが、水分がやや高いので工夫が必要です。

1 適品種の選定

- ① 適期刈り：出穂始〜出穂期の刈り取りによって、その品種の栄養価が高く最大収量を得られます。出穂期以降では乾物率は高くなりますが、栄養価は低くなることに留意してください。
- ② 適品種の利用：後作を考慮して出穂始〜出穂期の適期に刈ることができる品種を選定します。

2 適正施肥

窒素過多は糖含量の低下、含水率の上昇、倒伏の発生を助長しますので適正施肥に努めます。したがって、土壌分析を行うと共に、堆肥を投入した際には化学肥料の減肥を検討します。

3 予乾

細切サイレージの場合、水分は70〜75%（ラップサイレージの場合は、50〜60%）になるように予乾するかビートパルプ等の添加で調整します。乾草は、刈り取り後、テッダー等で1日2回程度反転し、乾燥を促進させ、水分が18%以下になるまで乾燥させ、梱包し収納します。

4 乳酸菌の添加

調製法によってパウダータ입、スプレータイプを使い分けます。特に予乾が不十分な場合や糖含量が少ない材料草には**サイマスターAC**、**サイマスター3**（P74〜77参照）をおすすめします。

■イタリアンライグラスと各種牧草類の収量の目安

種類 (草種)	品種		生草収量 (t/10a)		乾物収量 (t/10a)		水分60%の場合の重量 (t/10a)		
			1番草	2番草	1番草	2番草	1番草	2番草	
イタリアンライグラス	2倍体 品種	早生	タチユウカ(品種SK-14) タチマサリ タチワセ	4.0～6.0	1.5～3.0	0.8～1.2	0.3～0.6	2.0～3.0	0.8～1.5
		中生	タチムシャ	4.5～6.5	1.5～3.0	0.9～1.3	0.3～0.6	2.3～3.3	0.8～1.5
	4倍体 品種	中晩生	マンモスイタリアンB(品種21カ)	6.0～8.0	3.0～5.0	1.2～1.6	0.6～1.0	3.0～4.0	1.5～2.5
		晩生	エース	6.0～8.0	3.0～5.0	1.2～1.6	0.6～1.0	3.0～4.0	1.5～2.5
オーチャードグラス		早生	ナツミドリ	2.0～2.5	1.5～2.0	0.4～0.5	0.3～0.4	1.0～1.3	0.8～1.0
		晩生	バッカス	2.5～3.0	2.0～3.0	0.5～0.6	0.4～0.6	1.3～1.5	1.0～1.5
チモシー		極早生	ユウセイ	2.0～3.0	1.5～2.0	0.4～0.6	0.3～0.4	1.0～1.5	0.8～1.0
		早生	マオイ	2.5～3.5	1.0～1.5	0.5～0.7	0.2～0.3	1.3～1.8	0.5～0.8
		晩生	シリウス	3.0～3.5	0.5～1.0	0.6～0.7	0.1～0.2	1.5～1.8	0.3～0.5

イタリアンライグラス

イタリアンライグラス

エンパク

雪印種苗

雪印種苗育成品種

い だ て ん

品種

ウルトラハヤテ韋駄天 (韋駄天)

規格

1kg/袋

20kg/袋

極早生

農林水産省品種登録 第19307号

PVP 海外輸出禁止 (国特許法第24条第2項)

◎早播きトウモロコシ収穫後の晩夏播きで年内収穫利用に適する!



品種特性

- 播種適期幅が長く、遅く播いても安定出穂する極早生品種
スーパーハヤテ雫以上に出穂が早く、晩夏播きで播種が遅れても安定出穂し多収が得られる。
▶ 冬期に青刈り給与ができ、子牛や育成牛などへのビタミンAの補給に好適。
- 耐倒伏性に優れ、収穫しやすい
- 細茎で乾きが早い
- 極早生品種の中では越冬性に優れ、安定した収量が見込める

播種期

地域	播種期			収穫期	出穂期草丈
東北及び寒高冷地	春播き	単播	3月下旬～5月上旬	6月上旬～7月上旬	100～120cm
東南北部	晩夏播き	単播	8月下旬	11月下旬～12月中旬	110～120cm
一般地	晩夏播き	単播	8月下旬～9月中旬	11月下旬～12月下旬	110～120cm
		イタリアンライグラスとの混播	9月上旬～9月中旬		
	秋播き	単播	10月中旬～11月上旬	4月下旬～5月上旬	110～130cm
西南暖地	春播き	単播	3月上旬～4月上旬	5月下旬～6月中旬	100～120cm
	晩夏播き	単播	9月上旬～9月下旬	11月中旬～12月下旬	120～130cm
		イタリアンライグラスとの混播	9月中旬～9月下旬		
	秋播き	単播	11月上旬～11月下旬	4月上旬～4月中旬	120～140cm
	春播き	単播	2月中旬～3月中旬	5月上旬～5月下旬	100～120cm

注) 収穫期は出穂期を基準としたもの。秋播きで晩熟期～黄熟期刈りとする場合は、半月から1ヵ月遅くなる。

播種量

春播き8.0kg/10a、晩夏播き6.0～8.0kg/10a、秋播き6.0kg/10a
イタリアンライグラスとの混播:イタリアンライグラス(タチユウカまたはマンモスイタリアンB)3.0kg + ウルトラハヤテ韋駄天3.0～4.0kg/10a

ポイント1

適期播種が大切! 特に晩夏播きでは、播種が早すぎると、短稈出穂し、収量減となります。播種が遅すぎると未出穂となり、水分含量が増加し、予乾時間の増加につながります。

ポイント2

発芽不良の原因で多いのが播種後の鎮圧不足です。特に早魃時はしっかり鎮圧しましょう。



■ウルトラハヤテ韋駄天の特性比較

	9月上旬播種の年内の出穂期		耐倒伏性	冠さび病耐性	乾物収量(kg/10a)
	宮崎研究農場	千葉研究農場			
	2008～2010年	2010～2011年			
	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値
ウルトラハヤテ韋駄天	11月2日	11月5日	7.3	9.0	920
他品種A	未達	未達	4.5	5.7	771

(評点基準) 耐倒伏性: 耐倒伏性: 極強 9～極弱 1

年内出穂!



ウルトラハヤテ韋駄天 他品種A
ウルトラハヤテ韋駄天は遅播きでも出穂する(宮崎9月下旬播き)

冬期立毛乾草利用!



倒伏に強く冬期立毛乾草利用にも好適(宮崎1月)

■イタリアンライグラスと晩夏播きムギ類の混播作付体系例

地域	8月	9月	10月	11月	12月～3月	4月	5月	6月	7月	イタリアンライグラス+エンパク 生草収量	乾物収量
一般地		● イタリアンライグラスとエンパク混播 ★ (スーパーハヤテ雫、品種夏疾風、ウルトラハヤテ韋駄天)		★ イタリアンライグラス再生			● スノーデント118R、125T			8.0	1.5
西南暖地	★	● イタリアンライグラスとエンパク混播 ★ (スーパーハヤテ雫、品種夏疾風、ウルトラハヤテ韋駄天)		★ イタリアンライグラス再生	★	★	● スノーデントおとは			8.0～10.0	1.6～2.1

再生させて三番草を採ることも可能



他品種A ウルトラハヤテ韋駄天

2011年12月 弊社千葉研究農場

倒れにくい!

メリット①

収穫ロスが少ない

メリット②

混播した
イタリアンライグラスの
倒伏軽減が可能

イタリアンライグラスとの混播で 省力連続多収栽培



ウルトラハヤテ韋駄天とマンモスイタリアンBの混播(宮崎)

年内はウルトラハヤテ韋駄天主体で、翌春にはイタリアンライグラスの再生草が利用でき、連続して省力的に多収が得られます。また、ムギの湿害が心配な畑では、危険分散になります。

※夏の猛暑などが続く年は西南暖地では播種期を9月下旬まで遅らせると共にイタリアンライグラスはマンモスイタリアンBとの混播をおすすめします。

■播種量/イタリアンライグラス(タチユウカまたはマンモスイタリアンB) 3.0kg/10a
ウルトラハヤテ韋駄天 3.0～4.0 kg/10a

エンバク
品種

雪印種苗
雪印種苗育成品種

はやぶさ
品種

スーパーハヤテ集
(集)

規格
1kg/袋
20kg/袋

極早生



@安定出穂! 安定多収!

品種特性

- 草丈高く、茎が太く、葉が広い大型の多収品種。
- 極早生で年内の出穂も安定。
- 早播きでも短稈出穂になりにくく収量が安定。

播種期

地域		播種期	出穂期草丈
東北及び 寒高冷地	春播き	4月上旬～5月上旬	110～130cm
東南北部	晩夏播き	8月下旬	120～140cm
一般地	晩夏播き	単播:8月下旬～9月中旬 イタリアンライグラス混:9月上旬～9月中旬	120～130cm
	秋播き	10月中旬～11月上旬	120～140cm
	春播き	3月中旬～4月上旬	120～130cm
西南暖地	晩夏播き	単播:9月上旬～9月下旬 イタリアンライグラス混:9月中旬～9月下旬	130～140cm
	秋播き	11月上旬～11月下旬	130～150cm
	春播き	3月上旬～3月下旬	120～130cm

播種量

春播き8.0kg/10a
晩夏播き6.0～8.0kg/10a
秋播き6.0kg/10a
イタリアンライグラスとの混播:
イタリアンライグラス3.0kg+スーパーハヤテ集3.0kg/10a

エンバク
品種

雪印種苗
雪印種苗育成品種

ウエスト

規格
1kg/袋
20kg/袋

極早生

品種特性

- 晩夏播きの年内出穂性はウルトラハヤテ韋駄天・スーパーハヤテ集より劣るが、暖地で8月末に播種すれば11月上旬前後に出穂する。

エンバク
品種

雪印種苗
雪印種苗育成品種

スワン

規格
1kg/袋
20kg/袋

早生

品種特性

- 主に秋播き・春播きに適する。
- 大柄で多収。

エンバク
品種

雪印種苗
雪印種苗育成品種

はいいぶき

規格
1kg/袋

極早生

農研機構育成

品種特性

- 極早生、穂重割合が高く、トウモロコシ、早期水稻後の秋作に適する。

エンバク
品種

雪印種苗
雪印種苗育成品種

たちいぶき

規格
1kg/袋

極早生

農研機構育成

品種特性

- 極早生、晩夏播きで、サツマイモネコブセンチュウ抑制効果が高い。

エンバク
品種

雪印種苗
雪印種苗育成品種

たちあかね

規格
1kg/袋
22.5kg/袋

極早生

農研機構育成

PVP 海外輸出禁止
(農林省告示第25号)

品種特性

- 極早生、耐倒伏性に優れ、冠さび病耐病性品種。

エンバク
品種

雪印種苗
雪印種苗育成品種

はやて
品種

夏疾風

規格
1kg/袋
20kg/袋

極早生

新発売

数量限定販売

品種登録出願中(出願公表中)

海外輸出禁止
(農林省告示第25号)

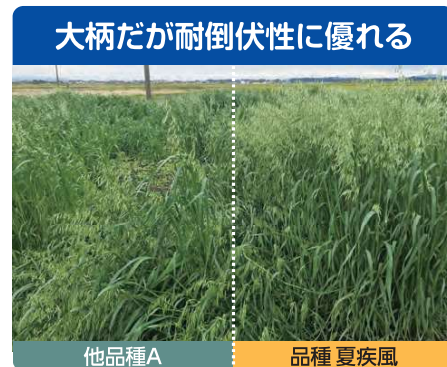
@2024年新発売! 大柄多収で耐倒伏性に優れる極早生品種!

農研機構と雪印種苗の共同育成品種!



品種特性

- 草丈が高く、収量性に優れる。
- 耐倒伏性に優れる。
- 極早生で年内出穂も安定。
- 早播きでも短稈出穂になりにくく収量が安定。



他品種A

品種 夏疾風

(弊社宮崎研究農場、2020年)

播種期

地域		播種期	出穂期草丈
東北及び 寒高冷地	春播き	4月上旬～5月上旬	110～130cm
東南北部	晩夏播き	8月下旬	120～140cm
一般地	晩夏播き	単播:8月下旬～9月中旬 イタリアンライグラス混:9月上旬～9月中旬	130～140cm
	秋播き	10月中旬～11月上旬	120～140cm
	春播き	3月中旬～4月上旬	130～140cm
西南暖地	晩夏播き	単播:9月上旬～9月下旬 イタリアンライグラス混:9月中旬～9月下旬	140～150cm
	秋播き	11月上旬～11月下旬	130～150cm
	春播き	3月上旬～3月下旬	130～140cm

播種量

春播き8.0kg/10a
晩夏播き6.0～8.0kg/10a
秋播き6.0kg/10a
イタリアンライグラスとの混播:
イタリアンライグラス3.0kg+品種 夏疾風3.0kg/10a

エンバク
品種



雪印種苗
雪印種苗育成品種

スナイパー

極早生 農林水産省品種登録 第23056号 **FVP** 海外輸出禁止
(農林水産大臣官印)

規格
1kg/袋
20kg/袋



農研機構と雪印種苗の共同育成品種!

◎サツマイモネコブセンチュウを抑制し、晩夏播きで利用可能!

品種特性

- サツマイモネコブセンチュウに対し高い抑制効果を有する。
- 極早生で年内出穂も安定。
- 直立型で細葉・乾物多収。
- 耐倒伏性に優れる。

播種期	地域			播種期	収穫期	出穂期草丈
	東北及び寒高冷地	春播き	単播	3月下旬～5月上旬	6月上旬～7月上旬	100～120cm
	東北南部	晩夏播き	単播	8月下旬	11月下旬～12月中旬	110～120cm
	一般地	晩夏播き	単播 イタリアンライグラスとの混播	8月下旬～9月中旬 9月上旬～9月中旬	11月下旬～12月下旬	110～120cm
		秋播き	単播	10月中旬～11月上旬	4月下旬～5月上旬	110～130cm
		春播き	単播	3月上旬～4月上旬	5月下旬～6月中旬	100～120cm
	西南暖地	晩夏播き	単播 イタリアンライグラスとの混播	9月上旬～9月下旬 9月中旬～9月下旬	11月中旬～12月下旬	120～130cm
		秋播き	単播	11月上旬～11月下旬	4月上旬～4月中旬	120～140cm
		春播き	単播	2月中旬～3月中旬	5月上旬～5月下旬	100～120cm

注) 収穫期は出穂期を基準としたもの。秋播きで成熟期～黄熟期刈りとする場合は、半月から1ヵ月程度遅くなる。 ※南九州など秋季温暖な地域では9月中旬～9月末の出穂が望ましい。

播種量 春播き8.0kg/10a、晩夏播き6.0～8.0kg/10a、秋播き6.0kg/10a

アヴェナ ストリゴサ
(エンバク野生種)
品種



雪印種苗

ハイオーツ

早生

規格
1kg/袋
20kg/袋

◎細葉、細茎で乾燥しやすい
乾草・ロールベールにおすすめ!



品種特性

- 細葉、細茎で乾燥しやすく、乾草・ロールベールサイレージ利用に適する。
- オオムギより耐湿性に優れ、適応範囲が広い。

播種期	地域	播種期
	東北及び寒高冷地	4月上旬～4月下旬
	一般地	10月中旬～11月上旬
	西南暖地	11月上旬～11月下旬
播種量	4.0～6.0kg/10a	



ロールベール利用に適する品種ハイオーツ

エンバク
品種



雪印種苗

ニューオールマイティ

中生

規格
1kg/袋
20kg/袋

◎広葉、太茎の多収エンバク!



品種特性

- 青刈・サイレージ・ロールベールと様々な用途に適する。
- 耐病性、耐倒伏性に優れる。
- 直立型で広葉・太茎・乾物多収。
- 青刈り利用の再生力は旺盛(機械で踏圧すると再生しません)。
- 春播きでも多収。

播種期	地域	播種期
	東北及び寒高冷地	春播き 4月上旬～4月下旬
	一般地	秋播き 10月中旬～11月中旬
		春播き 3月中旬～4月上旬
	西南暖地	秋播き 10月下旬～11月下旬
		春播き 2月下旬～3月下旬
播種量	6.0～8.0kg/10a	

オオムギ
品種



雪印種苗

ムサシボウ

中生

規格
1kg/袋
22.5kg/袋

◎野毛が無く嗜好性の良い
飼料用2条オオムギ登場!

詳しい情報は「牧草と園芸」をご覧ください。

注) 野毛: 正しくは芒(のぎ、ぼう)のこと。



イタリアンライグラスとの混播栽培

品種特性

- 極早生の品種ワセドリ2条より出穂が2週間以上遅い中生クラスの多収品種。
- 穂に硬い野毛が無い、牛のせき込みが無く、嗜好性が良い。
- 穂先までの高さは130～150cm程度。
- 倒伏に強く、イタリアンライグラスとの混播栽培に適する。
- 耐寒性がイタリアンライグラスやエンバクより優れるので、秋遅くまで播種できる。

播種期

地域	播種期	収穫期
東北南部	10月中旬～10月下旬	5月上旬～5月中旬
一般地	10月下旬～11月上旬	4月下旬～5月上旬
西南暖地	11月上旬～12月上旬	4月上旬～4月中旬

※秋あまり早く播くと寒害により越冬不良になることがあるので注意してください。

播種量 秋播き単播: 6kg/10a
(イタリアンライグラスとの混播)
品種ムサシボウ: 1～1.5kg/10a+雪印種苗直立型イタリアンライグラス: 3.0～4.0kg/10a



品種ムサシボウの穂



品種ムサシボウとイタリアンライグラスを混播するメリット

- ◎初期雑草の侵入を減らすことができます。
- ◎イタリアンライグラスの倒伏を軽減することができます。
- ◎収穫時の水分を下げるすることができます。

※ご注意

- 大麦萎縮病に対する抵抗性が無く、発生すると大きく減収するので、既発生圃場での栽培は避けてください。
- 大麦萎縮病の発生が心配される、またはわからない場合にはイタリアンライグラスとの混播栽培の中で、品種ムサシボウが健全に生育するかを確認してください。萎縮が無く、正常に生育するようであれば栽培を継続してください。
- 耐寒性は比較的優れますが耐雪性は劣るため積雪地帯での栽培は不適です。湿害にも弱いので注意してください。
- 品種ムサシボウは野毛が出ないように改良した品種ですが、野毛のある個体が少量ながら発生する事があります(異品種の混入ではありません)。

ムギ類の栽培と品種選定のポイント

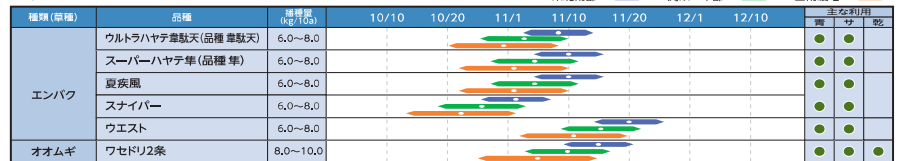
- 1 整地** 必要に応じて堆肥や土壌改良資材を投入し、プラウ、ロータリー等で耕起、整地します。
- 2 施肥** 基肥として化学肥料（N、P、K）成分で3.0～5.0kg/10aを施用します。施用量は、痩せ地では増量し、堆肥の投入量が多い肥沃な畑では減量してください。
- 3 播種** 各草種・品種の適正量をブロードキャスターやライムソウなどで均一に播種します。（播種量はページ下表参照）
- 4 覆土** ムギ類の種子は大きく、鳥害も受けやすいので、播種後はロータリーを浅くかけるなどして覆土してください。
- 5 鎮圧** 発芽を良好にするためにローラーで鎮圧します。晩夏播きなど高温・早ばつ時には特にしっかりと鎮圧しましょう。

ムギ類品種の特性と収量性

種類(草種)	品種	早熟性	草丈	茎の太さ	倒伏性	冠さび病	耐寒性	耐湿性	生育日数	乾燥収量	生育日数	乾燥収量
エンバク	ウルトラハヤテ豊穀天(品種 豊穀天)	極早生	中	細	極強	中	中	弱	4,000	800	5,000	900
	スーパーハヤテ豊(品種 豊)	極早生	中	中	強	中	中	弱	4,000	800	5,000	900
	夏疾風	極早生	中	中	強	中	中	弱	4,000	800	5,000	900
	スナイパー	極早生	中	細	強	中	中	弱	4,000	800	5,000	900
	ウエスト	極早生	低	中	強	弱	中	弱	4,000	720	5,000	850
	スワン	早生	中	中	強	中	中	弱	—	—	5,000	850
アウオナストロギサ (エンバク野生種)	ニューオールマイティ	中生	高	太	極強	強	強	弱	—	—	7,500	1,300
	ハイオーツ	早生	中	極細	中	極強	やや弱	弱	—	—	6,000	1,000
ライコムギ	ライコッコ4(品種T100)	極早生	高	太	極強	極強	極強	やや弱	—	—	6,500	1,200
	春一番	極早生	高	細	強	強	強	強	—	—	5,500	1,000
ライムギ	春香	晩生	中	中	強	極強	極強	極強	—	—	5,800	1,100
	ワセドリ2条	極早生	やや低	細	極強	極強	やや弱	強	3,500	700	4,200	750
オオムギ	ムサシボウ	中生	高	中	強	極強	極強	やや弱	—	—	5,000	1,000

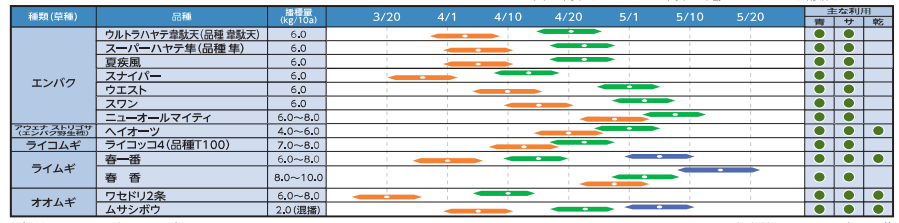
・収量は西南暖地での出穂期の収量性(kg/10a)。春播きの収量は晩夏播きに準じます。
・収量性は天候や地域、刈り取り時期等によって異なりますので、目安としてください。

晩夏播き 年内刈り取り



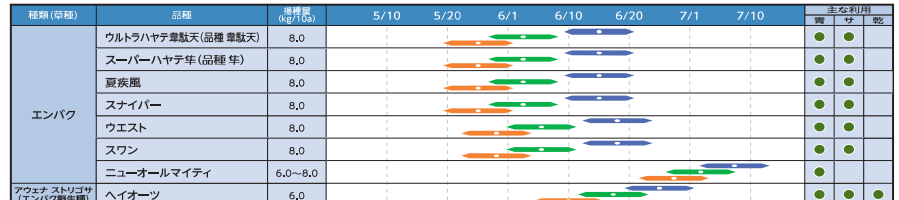
・播種月は東北8月下旬、関東一般地8月下旬～9月中旬、西南暖地9月。青・青刈り、サ・サイレージ、乾・乾草

秋播き 翌春刈り取り



・播種月は10月、ただし、ライムギは11月。青・青刈り、サ・サイレージ、乾・乾草

春播き 初夏刈り取り



・播種時期は品種紹介ページP50～57をご参照ください。
注) 出穂期は播種時期や天候・地域などによって変動があり、上記の表と一致しない場合もあります。青・青刈り、サ・サイレージ、乾・乾草



雪印種苗
雪印種苗育成品種

チモシー
品種

ユウセイ

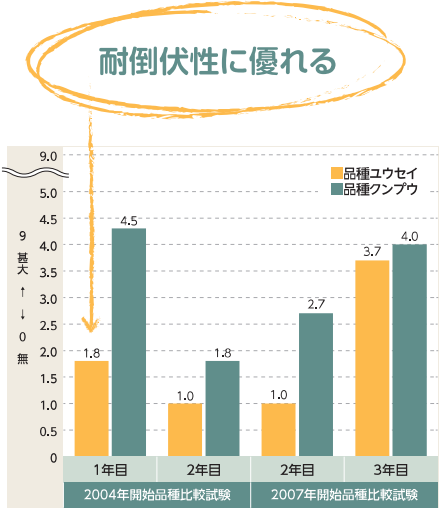
極早生 農林水産省品種登録 第21185号 PVP 海外輸出禁止 (農林水産省大臣官庁)

規格

1kg/袋

22.5kg/袋

@待望の極早生品種!



1番草倒伏程度

2004～2009年 弊社北海道研究農場



青森県における番草別乾物収量(kg/10a)

品種	1番草	2番草	3番草
ユウセイ	752(109)	232(97)	160(100)
クンプウ	692(100)	240(100)	160(100)

2006～2009年 青森県畜産研究所
※各番草ともに2～4年目の3年平均収量
※()内の数字は品種クンプウを100とした指数%



青森県における年間合計乾物収量(kg/10a)

品種	2年目	3年目	4年目	3年平均
ユウセイ	866(92)	1,279(119)	1,289(103)	1,145(105)
クンプウ	944(100)	1,079(100)	1,254(100)	1,092(100)

2006～2009年 青森県畜産研究所
※()内の数字は品種クンプウを100とした指数%

品種特性

- 品種クンプウより1～2日遅い極早生品種。
- 1番草が特に多収な品種。
- 斑点病、葉枯病に対する抵抗性に優れる。

播種期

東北及び寒高冷地	8月下旬～9月下旬、 4月上旬～5月上旬
一般地 (西南暖地の一部を含む)	9月中旬～10月中旬

播種量

2.0～2.5kg/10a

ムギ類

ムギ類品種の出穂期

寒地型永年牧草